



＜夏休み期間＞

町内各小中学校→7月23日(水)～8月21日(木)
弟子屈高等学校→7月24日(木)～8月20日(水)



- ▶命を大切にしよう
- ▶生活のリズムを守ろう
- ▶非行を起こさないようにしよう
- ▶事故には十分に注意しよう

- ・計画を立てて学習に取り組み、苦しい範囲を復習しましょう。
- ・「弟子屈町メディアール」を守り、インターネットを通したトラブルには十分気をつけましょう。
- ・外出するときには、帰宅時間や行き先を保護者に必ず伝えましょう。
- ・帰宅時間(小学校・中学校・高校で異なります)を守りましょう。
- ・交通ルールを守りましょう。特に自転車を利用するときは危険な乗り方をしないようにしましょう。
- ・ゲームセンターやカラオケボックスなどの遊技場を利用する際は、学校のルールを守りましょう。
- ・立入禁止区域など危険な場所には行かないようにしましょう。
- ・地域住民や周りの人に心配や迷惑をかけないよう心がけましょう。
- ・小中学生のみでのキャンプ・外泊は禁止です。
- ・夏休み中、もし家の人や学校の先生以外に何か相談したいことがあれば、「子ども相談支援センター」0120-3882-56(無料)でも専門の職員が24時間いつでもお話を聞いてくれます。

町民の皆さんへ

子どもたちが楽しみにしている夏休みがいよいよ始まります。長期の休みでは、解放感から不規則な生活習慣になったり、さまざまな誘惑に乗ってしまったり、不適切な行為に走る恐れがあります。また、インターネットを通したトラブルなども全国各地で多発しています。子どもたちには、家庭での生活を中心に、楽しく、安全かつ有意義に過ごし、また、地域の一員として自律的に生活し、人と人との絆を強めていってもらいたいと願っております。町民の皆さまにおかれましては、見守りの輪を広げ、時には叱咤激励していただけるとありがたく存じます。地域の子どもたちに関心を持っていただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

町生徒指導連絡協議会・町教育委員会

町・弟子屈防犯協会・川湯防犯協会・町少年補導員連絡協議会			
弟子屈警察署 ☎482-2110・川湯駐在所 ☎483-2151			
弟子屈小学校 ☎482-2044	川湯小学校 ☎483-2041	和琴小学校 ☎484-2061	美留和小学校 ☎482-1097
弟子屈中学校 ☎482-2071	川湯中学校 ☎483-2337	弟子屈高校 ☎482-2237	

(広告)

(広告)

契約期間：定め無し 試用期間：無し
就業場所：北海道川上郡弟子屈町川湯温泉1丁目12番1号 クンネチュブ
休憩時間：あり 時間外労働：なし 賃金：1300円より 加入保険：無し
募集者：川湯温泉リゾート クンネチュブ 天野英紀

川湯温泉リゾート・クンネチュブ

パート・アルバイトさん募集
週2～3回 一日3時間ほど

時給：1300円より

お仕事内容：お部屋の掃除、ベッドメイク
お問合わせ：090-3303-7681 天野まで

増え続ける オオハンゴンソウ。 止めよう、 町民の力で。

開催日
7/26(土)
8:30～12:00
会場
JR川湯温泉駅周辺

NPO法人てしかがトレイルクラブ(TTC)では、特定外来生物のオオハンゴンソウの駆除活動を実施します。お手伝いいただけるボランティアを募集します。

▼お申込について
7月24日(木)までにメールまたは電話。『当日の朝に連絡のつく電話番号』『お名前とよみがな』を必ずお知らせください。(悪天候等の際の中止連絡のため)集合場所や持ち物等についてはお申し込みの際にお伝えします。
※雨天中止の場合は8/2に実施予定

▼申込・問い合わせ先
NPO法人てしかがトレイルクラブ(小林)
電話：080-5026-5027
メール：mashu.kussharo.trail@gmail.com

運営団体のページ

弟子屈町生徒指導 連絡協議会便り

No.24
令和7年
7月1日

「美しい姿と言葉の育成を目指して」

本町にお世話になり3年目を迎えました。今年度も町生徒指導連絡協議会の会長を務めます弟子屈中学校長の小林一博です。どうぞよろしくお願いいたします。

町民の皆さまには、平素から本町の児童・生徒の健全育成のためにお力添えをいただいていることに加え、本会の活動に對しても特別なご理解とご協力をいただいておりますことに、この場をお借りして感謝申し上げます。

学校現場では、コロナ禍の影響によりGIGAスクール構想の前倒し導入が始まり早5年近くになります。iPadなどの1人1台端末環境を活用しての授業や教育活動は当たり前となり、子どもたちの可能性を引き出す方法や世界は広がっています。一方で、SNSの急速な普及は、社会にプラス面の変化を与えただけではなく、使用する側のモラルやマナー、社会の制度などの体制が、まだまだ十分とは言えないことに起因する課題も表出されています。

日本の平安時代や江戸時代などの過去の時代と比べ、どんなに世の中が便利になり、生活が豊かになったとは言え、人間の中身も高まったとは残念ながら言えません。人間の区別は「上品か、下品か」の区別しかないと言われています。それは、実際、「中品」という言葉が使用されていないことからもはっきりしています。昨今、問題視されているSNSなどでの誹謗中傷のような聞くに耐えないひどい言葉の横行などは、上

品な人とは言えず、下品な人の行いと言えるでしょう。では、上品な人と評価されるための美しい姿と言葉の育成には何が必要なのでしょう。そのヒントも歴史から学べると思えます。中国の哲学者のひとりの孟子は、上品な人間として成長するための大切な四つの側面を「四端」と言い表しました。

四端とは、「惻隱をくいん」の心「羞惡(しゅうあく)の心」「辞讓(じじょう)の心」「是非(ぜひ)の心」の四つの心です。「惻隱の心」とは、人への思いやりを持つこと。「羞惡の心」とは、不正や悪を憎み、恥を知ること。「辞讓の心」とは、われ先にはなく人に譲る心を持つこと。「是非の心」とは、正しいこととまちがっていることを判断できる心を持つことです。やはりこの4つは、美しい姿や言葉、凛とした姿勢や生き方をするための必須条件だと思います。

年々日本全体、少子化が顕著に感じられてきています。そのような状況であるからこそ、人としてあるべき姿や生き方、我が国の文化を継承しつつ持続可能な町づくり、人づくりが求められています。その実現のために、家庭と学校の二柱だけでなく、一柱である地域と共に育成する重要性が欠かせません。今年度も共に協力し、知恵を出し合い、取り組んでいきたいと考えております。本協議会へのご協力をよろしくお願いいたします。

弟子屈町生徒指導連絡協議会
会長 小林 一博
(弟子屈中学校長)

町内団体の取り組みを紹介 ～美留和小学校～

美留和小学校は全校児童16人。特認校のため町内どこからでも通うことができます。ことから、児童の多くは学区外から通学しています。さまざまな体験活動、地域の方との交流を通して、美留和の理念である「児童が学びたい、保護者が学ばせたい、教職員が働きたい、地域が支えたい美留和小学校の創造」を目指しています。

本校の児童会活動は三年生から参加しています。今年度から新たに「文化グループ」「保体グループ」を設け、学校をよりよくするためにさまざまな活動をグループごとに取り組んでいます。毎週金曜日の「ゲーム集会」や「夏を楽しく集う集会、冬を楽しく集う集会」などでは、担当児童が全校で楽しめる遊びを決めるルールや道具の準備など、すべて自分たちで行っています。このように児童が自らの手で準備し、運営していく経験が多



話し合いの様子



毎週金曜日の「ゲーム集会」



地域の方々とイモ団子作り



本の読み聞かせ

問い合わせ先／弟子屈町生徒指導連絡協議会事務局(弟子屈中学校) ☎482-2071